

令和8年度 秋田商業高等学校 キャリア教育全体計画



○教育目標

- (1) 義務教育で培った基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて高度な普通教育及び商業教育を施す。
- (2) 後期中等教育段階として求められる一般的な教養と教科商業が求める専門的な知識、技術及び技能を習得させる。
- (3) 建学の精神である「感謝」「勤勉」「鍛錬」の意味を具現化させながら、豊かな人間性、創造性、健やかな身体を養う。

○今年度の重点目標

- (1) 生命を尊重する心や他者を思いやる広い心を養うとともに、多様な価値観や背景をもつ人々を理解し認め合い、共に生きる姿勢を育む。また、あいさつや礼儀を重んじ、心身の鍛錬に励み、心身ともに健全で人間性豊かな生徒の育成に努める。
- (2) 商業高校としての専門的な学びや実践的な教育活動（ビジネス実践・資格取得・地域連携等）の充実を図り、幅広い教養と確かな学力の向上に努めるとともに、主体的に自己の進路目標を設定し、その実現に向けて粘り強く取り組む生徒の育成に努める。

○キャリア教育の目標

本校での3年間の高校生活の中で、様々な学習・経験を通して、社会的・職業的に自立するために必要となる能力や態度を育む。

○各学年の重点目標

1年	<ol style="list-style-type: none"> (1) 基本的な生活習慣を整え、集団生活の中で互いを尊重しながらルールを守る規範意識と社会性を養う。 (2) 自分の学びに責任をもち、基礎学力の定着に向けて主体的に学習に取り組む姿勢を身に付ける。 (3) 進路希望実現のために自己理解を深め、将来を見据えて必要な資格取得に計画的に取り組む。
2年	<ol style="list-style-type: none"> (1) 商業科目の基礎学力を確実に定着させ、計画的な資格取得を通して学習成果の向上を図る。 (2) 基本的な生活習慣の徹底と学年内の共通指導により、落ち着きと秩序ある教育環境を維持する。 (3) 社会人基礎力の育成を重視し、進路選択に主体的に向き合う態度と実践力を養う。
3年	<ol style="list-style-type: none"> (1) 常に感謝と思いやりの心を持ち、勤勉に学習に取り組むとともに心身の鍛錬に努める。 (2) 品性を磨くことで、周囲から応援される人間・集団になることを心がける。 (3) 希望進路実現のために必要な学力を獲得し、上位資格の取得に邁進する。

○進路指導の重点目標

- (1) 進路意識の早期確立を図り、学年や進路志望に応じた継続的な指導を行う。
- (2) 主体的な進路決定のための的確な進路情報を収集し、提供する。
- (3) 学習習慣の定着と基礎学力の向上を図る。

○秋商で身に付けるべき力と基礎的・汎用的能力について

	【A】人間関係・社会形成能力	【B】自己理解・自己管理能力	【C】課題解決能力	【D】キャリアプランニング能力
国語科	他者の意見を読み聞きして的確に理解し、自らの考えを明らかにして適切に表現し、伝える力を育てる。	意見を発表し合い相互に評価することにより、自分と他者の立場や価値を見出せる。	自学習習慣を確立し、予習によって課題を発見し、授業において分析・解決し復習によって知識・理解の定着を図る。	よりよい社会生活を営むために、本や新聞を読む習慣を身に付ける。また、情報を取捨選択し、活用する力を育てる。
地歴公民科	我が国と多様な世界の歴史的過程・地理的背景を学び、良識ある社会人としての基本的な知識を身に付けることで、「多様な立場の人間を理解し協働して社会を形成していく能力」を育成する。		資料や図を読み取り、原因-結果を探究する思考力を培うことで、「主体的な課題解決能力」を身に付けさせる。	優れた先人の業績や世界の地理、現代の社会を学ぶことで、困難を乗り越える「生きる力」を身に付けさせる。
数学科	数学的な考え方や知識を通して、数学を活用して社会をよりよく生きる知恵を育成する。自らの考えや判断の前提を明確にし、根拠を示しながら説明できる力を身に付けさせる。		数学を学ぶことを通して、将来の学習や生活に数学を積極的に活用できるようにするとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるように努め、課題解決能力を身に付けさせる。	
理科	自然の事物や現象についての学習を通して科学的な自然観を身に付け、日常生活や社会との関わりを理解するとともに、人間の存在や自己の在り方についての深化を図る。		グループ学習による実験や観察を通してコミュニケーション能力を高めるとともに、自然に対する関心や探究心を高め、課題解決能力の向上を図る。	
保健体育科	武道を通して礼儀作法や相手を尊重する態度を育てるとともに、球技ではチーム・集団における自分の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームをしようとする姿勢を身に付けさせる。		自分の学習活動を振り返り、課題や成果について自己評価を行い、新しい課題に向かって学習しようとする課題解決能力と探究心を育てる。	
芸術科	演奏や作品制作の活動を通して自己表現の能力を高め、他者とコミュニケーションをとりながら活動する態度を身に付けさせる。	さまざまなジャンルの音楽および書道の作品に触れることで、日本の芸術の歴史的価値を理解するとともに、他の国々の芸術文化を感受し、理解を深める態度を養う。		
英語科	身近な事柄について英語でコミュニケーションを図る力を身に付けさせる。	英語で自己表現することを通して自己理解を深め、主体的、積極的に行動する態度を養う。	英語学習を通して国や文化の異なる人々とも積極的に交流し意見を交わす態度を養うとともに、グローバル化が進み複雑に状況が変化していく中で情報を適切に取捨選択する能力を養う。	
家庭科	一生を通じて自分が他者と関わりながら生きていくことに気づかせ、感謝の心や思いやりの心をもたせる。	体験的な学習を通して、成就感や達成感をもたせ、前向きに努力しようとする姿勢を養う。	家庭生活の充実向上のために、必要な情報を収集しながら計画を立て、実践しようとする姿勢を養う。	家庭生活における課題を解決するために必要な人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する知識と技術を身に付けさせ、自分自身の人生観と生活観を考えさせる。
商業科	ビジネスに関する学習を通して、コミュニケーションの重要性を理解し、職業人としての望ましい人間関係の構築の必要性を理解させる。	ビジネスの意義や役割を学習することで、自分自身の可能性を肯定的に捉えさせ、働くことへの意欲をもたせる。また、法令遵守や説明責任等企業の社会的責任の重要性を理解させ、自己の行動に活かそうとする態度を育てる。	現状を把握するための情報を収集し適切な形に加工する知識・技術を身に付けさせる。さらに、社会に目を向け、よりよい社会にするためには何をすべきかを考える態度を育む。	専門的な学習や上級資格を取得することで、高校での学習と職業を結びつけて考える力やスペシャリストを目指す意欲を醸成させる。
ビジネス実践	さまざまな立場の人とのつながりを通して、持続可能な社会の実現に向けた活動を行う中で、他者と協力し、チームで働く力を身に付けさせる。	外部とのつながりの中で、自己理解を深め、社会で自己の特性を活かそうとする意欲をもたせる。	ユネスコスクールとしての自覚を持ち、持続可能な社会の実現を目指し、現在の課題を発見・分析し、解決しようとする積極的な態度を育む。	ビジネス実践活動を通して、働くことの意義と働くことの喜びを体験し、社会人基礎力を育む。

※「ビジネス実践」は総合的探究の時間の活動を指すものであり、1年：ビジネス実践基礎講座、2～3年：「AKISHOP」「キッズビジネスタウン」「エコロジカルビジネス」で構成されている。